顔の見える関係から、地域企業支援の新たなステージへ

鳥取信用金庫 × ＴＫＣ中国会鳥取県支部
トップ対談開催報告



トップ対談　概要

日時：２０２６年９月３日（木）
　　１３：３０～１４：３０
場所：鳥取信用金庫 本店営業部

【鳥取信用金庫】
・草刈康弘様（理事長）
・奥本和宏様（常務理事　融資部長）
・湊章光様（融資部副部長）

【ＴＫＣ中国会鳥取県支部】
・森耕生（支部長）
・小谷誠（副支部長、東部部会長）
・廣田恵里（支部中小企業支援委員長）

1 「顔の見える関係」を築き、地域企業への支援を強化

ＴＫＣ会員からは、ＴＫＣ全国会が金融機関との「顔の見える関係」の構築を重視していることを紹介しました。また、ＴＫＣ会員が取り組む税務・会計・保証・経営助言の４大業務と、月次巡回監査を基礎とする月次決算体制について説明し、今回の対談を契機に鳥取信用金庫様との連携をさらに深め、地域企業の活性化と持続的成長に繋げていきたいことを伝えました。

2 ＴＫＣモニタリング情報サービスによる迅速な情報共有と融資業務の円滑化

鳥取信用金庫様からは、決算書や月次試算表を電子データで受け取れることで、資料取得までの時間短縮、融資手続の円滑化、紙資料の保管・スキャン作業の軽減に繋がっているとの評価の声をいただきました。また、決算書に加えて足元の業況を確認できる月次試算表提供サービスのさらなる推進を依頼いただきました。鳥取県支部会員先生方におかれましては、未利用先へのご案内をお願いします。

3 対談で確認した主な連携テーマ

（1） ＴＫＣモニタリング情報サービス利用のさらなる拡大

令和８年８月末時点で「決算書等提供サービス」は２９５件、「月次試算表提供サービス」は５２件のため、鳥取信用金庫の営業担当者が取引先へ案内しやすいようチラシを提供しています。また、紙提出先への電子提供の声かけ、月次試算表の利用促進について意見を交わしました。

（2） 決算書の信頼性と記帳適時性証明書

記帳適時性証明書では、月次処理の状況、経営計画・書面添付の有無、ＦＸシリーズの活用状況などを確認できることを説明しました。金融機関の融資判断や企業支援に役立つ情報として、今後さらに周知してまいります。

（3） 今後の連携テーマ

前回開催から１０年以上が経過した行職員勉強会を、決算書の見極め方、事業承継、創業支援などを候補に再開する運びとなりました。また、ＴＫＣファストリンクについて高い関心を示していただき、他地域金融機関の事例を参考に、「ＴＫＣ会員関与先企業専用の融資商品」の提供について前向きに検討いただける旨を伺いましたので、今後も情報交換を継続します。

4 今後に向けて

対談では、企業価値担保権、モニタリング強化型特別保証制度、経営計画を活用した支援、ＴＫＣモニタリング情報サービス、ＴＫＣファストリンクなどを情報共有しました。今後は①行職員勉強会の開催②ＴＫＣモニタリング情報サービスのさらなる活用促進から具体的な連携をはじめ、金融機関とＴＫＣ会員事務所の強みを生かして、地域企業への伴走支援をさらに充実できるよう活動してまいります。



対談で共有された今後の方向性

鳥取信用金庫様からは、ＴＫＣモニタリング情報サービスを活用した決算書・月次試算表の電子提供について融資業務の円滑化に役立っているとの評価がありました。ＴＫＣ会員側は利用件数の拡大と月次試算表の普及を進め、行職員勉強会を通じて相互理解を深めます。独自融資商品の可能性についても、先方の意向を丁寧に伺いながら情報交換を継続します。

作成：ＴＫＣ山陰ＳＣＧサービスセンター